

公開情報資料

整理番号	2023. 05-1	
研究課題名	切除不能Ⅲ期非小細胞肺癌に対する根治的化学放射線療法後デュルバルマブ維持療法の完遂割合に関する検討	
研究期間	2018年8月1日から2022年4月30日	
研究目的	<p>切除不能Ⅲ期非小細胞肺癌の患者さんでは、根治的化学放射線療法後に癌の状態がコントロールされていれば、免疫チェックポイント阻害薬であるデュルバルマブの維持療法を行うことで、長期間の生存につながる事が報告されています。しかし、この維持療法を完遂できた患者さんと完遂できなかった患者さんでの生存期間や背景の違いなどは明らかになっていません。本研究では根治的化学放射線療法後にデュルバルマブの維持療法を行い、完遂できた患者さんと完遂できなかった患者さんでの生存期間や副作用の状況、背景の違いなどを明らかにすることで、どのような患者さんでデュルバルマブ維持療法の効果が高くなるのか、また完遂することの恩恵が得られるのかを調べることを目的とします。</p>	
研究方法	研究対象範囲	当院で2018年8月1日から2022年4月30日の間に根治的化学放射線療法後にデュルバルマブによる維持療法を開始した切除不能Ⅲ期非小細胞肺癌患者
	利用する情報等	年齢、性別、併存疾患、既往歴、喫煙歴、肺癌のステージ、血液検査所見、画像検査所見、治療内容、生存期間、副作用の状況など
	利用方法	カルテ記載から収集する
	他機関への提供	なし
研究責任者	岡山赤十字病院 呼吸器内科 狩野裕久	
問合せ先	岡山赤十字病院ホームページの[お問い合わせ]ボタンからメールにてお問い合わせください。	